

山口県地図史関係文献目録

河村 克典

当館は毛利家文庫、県庁伝来旧藩記録、軸物類、行政資料などの文書群を中心に、絵図、地図を多く所蔵している。日常の利用者からは、①館蔵の絵図、地図の内容の他に、②関連の研究成果についての問い合わせが多く見られる。これらに対応するには、関連の事項に関するデータベースを作成しておく必要がある。本稿では、山口県の地図史に関係のある文献を整理したので、ここに報告する。

文献目録は、(1)全般、(2)中世絵図、(3)近世絵図、(4)近代絵図、(5)絵図、地図目録に分け、さらに研究成果の多い近世絵図に関しては、①国絵図・防長両国絵図、②一村限明細絵図(地下上申絵図・村絵図)、③享

保増補村記、④宝暦小村絵図、⑤城下絵図、⑥行程記・御国廻行程記、⑦土図、⑧水損図、⑨伊能忠敬・伊能図、⑩世界図、⑪朝鮮図、⑫絵図方に分類した。なお、明治期の地籍図に関しては、宝暦小村絵図との関連で報告が見られるので、宝暦小村絵図の項目に入れた。

文書』家わけ第十七、大徳寺文書之十三。

・小川信(1985)：中世の長門府中と守護館・守護代所、国史学、127号。

※忌宮神社境内絵図。

・福本上(1985)：『よしみ史誌』中世編、下関市立吉見公民館。

・国守進(1986)：豊浦郡正吉郷入江干潟絵図について、山口県文化財、第16号、山口県文化財愛護協会。

・梅田正(1986)：長門国豊浦郡河内包光名絵図について、山口県立博物館研究報告、第12号。

・山口県(1996)：『阿弥陀寺絵図』、『忌宮神社境内絵図』、山口県史、資料編中世1付録、山口県。

・木村忠夫(1996)：阿弥陀寺絵図解説、山口県史、資料編中世1付録、山口県。

・岩元修一(1996)：忌宮神社境内絵図解説、山口県史、資料編中世1付録、山口県。

・平瀬直樹(1997)：長門国正吉郷の中世、「有光家文書」の世界、『日本社会の史的構造』古代・中世、思文閣出版。

・木村忠夫(1998)：正吉郷の中世史、『図説山口県の歴史』、八木充編、河出書房新社。

・下関市市史編修委員会(1999)：惣公文物部武久請文案、『下関市史・資料編V』、370頁、下関市。

・山村亜希(1999)：守護城下山口の形態と構造、史林、第82巻3号。

・山村亜希(2000)：南北朝期長門国府の構造とその認識、人文地理、第52巻第3号。

・東京大学史料編纂所(2001)：『日本荘園絵図聚影』五上、西日本一、東京大学。

(3) 近世絵図

①国絵図 防長両国絵図

・川村博忠(1976)：元禄年間の国絵図改訂と下絵図点検一周防・長門両国の場合一、地理科学、25。

・川村博忠(1978)：正保郷帳にみる防長両国における旱水損村の分布、エリア山口、第8号、山口地理学会。

・川村博忠(1980)：天保国絵図・郷帳の成立とその内容、山口大学教育学部研究論叢、第30巻第1部。

山口県地図史関係文献目録

(1) 全般

・山口県土地家屋調査士会(1981)：『山口県の土地制度と地図の歴史』、山口県土地家屋調査士会。

・山口県立山口博物館編集(1984)：『防長の古地図』、山口県立山口博物館。

・山口県文書館編集(1989)：『絵図でみる防長の町と村』、山口県文書館。

・川村博忠(1992)：『近世絵図と測量術』、古今書院。

・下関市立長府博物館編集(1995)：企画展『関の町誌の世界ー昔日の赤間関』、下関市立長府博物館。

・民事法務研究所(1995)：『登記所備付け公図の沿革(全国の概要と中国地方)』、民事法務増刊(第155号)、財団法人民事法務協会。

・山口県教育委員会(1996)：歴史の道調査報告書『赤間関街道』、山口県教育委員会。

・宮田伊津美編修(1996)：『絵図で見る岩国』展図録、岩国徴古館。

・山田稔(1997)：古地図コレクション、山口県文書館、『別冊歴史読本、江戸時代「古地図」総覧』、424-425頁、新人物往来社。

・川村博忠(1997)：『防長の近世地図史研究』、川村博忠教授退官記念事業会(山口市吉田1677-1 山口大学教育学部地理学研究室内)

・建設省山口工事事務所編集(1999)：『佐波川今昔集錦』。※佐波川流域の絵図・地図を収録。

・河村克典(2002)：山口県文書館の絵図・地図、地図ニュース、2002-5、No.356、日本地図センター。

・河村克典(2002)：文書館所蔵の地図、山口県文書館、地図情報、Vol. 21 No.4。

(2) 中世絵図

・石川卓美(1975)：『山口古図』解説、マツノ書店。

・木村忠夫(1976)：「八箇御配置絵図」について、山口県地方史研究、第45号。

・下中邦彦編集(1980)：「山口町」『山口県の地名』平凡社、303-307頁。※「山口古図」のトレース図。

・東京大学史料編纂所(1982)：長門国豊浦郡河内包光名絵図、『大日本古

- ・マツノ書店(1974)：防長古図(毛利藩絵図方作成)、マツノ書店、地図1枚。
- ・村井益男・鈴木圭吾・橋本政宣・宮淳(1980)：現存古地図の歴史地理学的研究、I 国絵図関係、5山口県文書館、東京大学史料編纂所報、第14号、49頁。
- ②一村限明細絵図(地下上申絵図、村絵図)
- ・山口県文書館(1985)：『山口県文書館収蔵文書仮目録』3、県庁伝来旧藩記録等仮目録、187-216頁。※一村限明細絵図の目録
- ・広田暢久(1984)：長州藩編纂事業(其の三)、山口県文書館研究紀要、第11号。
- ・山口県文書館編修(1966)：『防長風土注進案』、第22巻、研究要覧、山口県地方史学会、88-89頁。※地下上申。
- ・山澄元(1968)：萩藩藩政村における知行地の構造、『藩領の歴史地理-萩藩-』、西村睦男編、大明堂。
- ・木村辰男(1968)：近世における市町の分布形態と商圏-周防徳地宰判領域を例として-、『藩領の歴史地理-萩藩-』、西村睦男編、大明堂。
- ・西村睦男(1968)：近世における中心集落-その形成と規模および商圏、『藩領の歴史地理-萩藩-』、西村睦男編、大明堂。
- ・山口県地方史学会編(1978)：『防長地下上申』第一巻、マツノ書店。
- ・川村博忠(1984)：近世防長の村絵図・郡図について、地理、29-11。
- ・川村博忠(1984)：藩政基本資料としての地方絵図-萩藩の村図・郡図・小村図-、歴史地理学紀要、第30号。
- ・山田稔(1985)：地下上申絵図の地下図について-「旧記細目」による若干の検討-山口県文書館研究紀要、第12号。
- ・山田稔(1987)：地下上申絵図はどうつながるのか、山口県文書館研究紀要、第14号。
- ・河村克典(1995)：萩藩作成「一村限明細絵図」にみる近世の村落景観-平郡島「地下図」を事例として-、エリア山口、第24号、山口地理学会。
- ・藤井正彦(1996)：萩藩作成「一村限明細絵図」宇部村の図を利用した地域学習(一)、エリア山口、第25号、山口地理学会。
- ・山田稔(1997)：一村限明細絵図清図の図様と接合形態-接合シミュレーションを通して-、山口県文書館研究紀要、第24号。
- ・山田稔(1999)：一村限明細絵図地下図の図様と全体構成、山口県文書館

- ・川村博忠(1981)：周防・長門の両慶長国絵図について、エリア山口、第10号、山口地理学会
- ・川村博忠(1984)：寛永期の作成とみられる防長国絵図、山口県地方史研究、第52号。
- ・川村博忠(1984)：『江戸幕府撰国絵図の研究』、古今書院。
- ・川村博忠(1990)：『国絵図』、吉川弘文館。
- ・川村博忠(1995)：寛永国絵図の縮尺図とみられる「日本六十八州縮写国絵図」、歴史地理学、第37巻第5号。
- ・川村博忠(1996)：毛利家文庫「日本図」中の周防・長門図について、エリア山口、第25号、山口地理学会。
- ・川村博忠(1998)：江戸初期日本総図再考、人文地理、第50巻第5号。
- ・川村博忠(1999)：幕府命令で作成された嘉永年間の沿岸浅深絵図、地図、37-2。
- ・川村博忠編(2000)：『江戸幕府撰慶長国絵図集成付江戸初期日本総図』、柏書房。※慶長周防国絵図、慶長長門国絵図。
- ・河村克典(1997)：元禄国絵図に伴って作成された周防・長門両国の縁絵図、山口県地方史研究、第77号。
- ・河村克典(1999)：周防長門両国「国絵図」関係史料、山口県文書館研究紀要、第26号。
- ・河村克典(1999)：毛利家文庫「元禄周防・長門国絵図」の性格、山口県地方史研究、第81号。
- ・河村克典(1999)：毛利家文庫「長門周防両国絵図」の記載内容、山口県地方史研究、第82号。
- ・河村克典(1999)：正保年間周防国「道帳」、エリア山口、第28号、山口地理学会。
- ・河村克典(2000)：正保年間周防国「道帳」、エリア山口、第29号、山口地理学会。
- ・河村克典(2000)：国絵図との関連で作成された防長両国一枚絵図について、山口県地方史研究、第84号。
- ・喜多祐子(1999)：正保国絵図における支藩領記載について-周防・長門両国を事例に、歴史地理学、第196号。
- ・喜多祐子(2001)：防長両国一枚絵図の表現と系譜-国絵図との比較を中心に-、兵庫地理、第46号。

・田中誠二(1999)：萩藩天明山検地の研究、瀬戸内海地域史研究会『瀬戸内海地域史研究、第7輯』、文献出版。

⑤城下絵図

・阿部次男編(1989)：『萩城下町絵図に見る分限帳－文化・文政年間－』、阿部次男。

・阿部次男編(1990)：『萩藩城下町の絵図に見る人名簿及び住所録－天和2(1682)～3(1683)』、阿部次男。

・近藤隆彦(1969)：幕藩体制下における萩城下町の都市計画、新都市、23-9。

・近藤隆彦(1975)：萩城古図、萩市郷土博物館友の会、1枚。

・近藤隆彦(1997)：萩城下町、『太陽コレクション、城下町古地図散歩5、萩・津和野山陰・近畿2の城下町』、38-56頁、平凡社。

・萩市教育委員会(1988)：萩城跡外堀調査報告書、－萩城跡外堀文献調査報告－、－萩城跡外堀発掘調査報告－、萩市教育委員会。

・萩郷土文化研究会編(1969)：『萩城下町地図－嘉永年間萩城下・侍屋敷と町－』、しろがね書店。

・樋口尚樹(1998)：萩市指定文化財「史跡萩城下街割原標石」再考、萩市郷土博物館、第9号、1-6頁。

・平凡社(1997)：安政年間萩城下町絵図(山口県文書館蔵)、『太陽コレクション、城下町古地図散歩5、萩・津和野山陰・近畿2の城下町』特別付録、平凡社。※図版。

・三坂圭治・近藤隆彦(1972)：「萩－長門国萩城下町－」『日本の市街古図』(原田伴彦・西川幸治編)、鹿島研究出版会。

・三坂圭治・近藤隆彦(1974)：元文年間作成萩城下町絵図、史都萩28。

・矢守一彦(1976)：「城下町」(『日本の古地図』5)、講談社。

・矢守一彦(1983)：「城下絵図の類別－とくに藩用図について－」『城下町とその変貌』(藤岡謙二郎編)、柳原書店。

・矢守一彦・免田千穂(1971)：萩の城下町に関する若干の覚書、地理、16-6。

⑥行程記 御廻り行程記

・川村博忠(1986)：近世道中絵図「行程記」の内容と成立時期、山口県地方史研、第55号。

・北川健(1992)：萩藩まぼろしの「行程記」絵図群、藩内主要路の体系と

研究紀要、第26号。

・美祢市史編集委員会(1982)：『美祢市史』、美祢市、595-596頁。

・橘町史編集委員会(1983)：『橘町史』、橘町、299-304頁。

・大和町史編纂委員会(1983)：『大和町史』、大和町、247-249頁。

・油谷町史編纂委員会編(1990)：『油谷町史』、223、240、251頁。

・大島町史編纂委員会(1992)：『大島町史』、大島町、256、269頁。

・錦町史編さん委員会(1995)：『錦町史 民俗編 山と里と人とくらし』、錦町。

③享保増補村記

・宮田伊津美・藤重俊男編集(1989)：凡例、『享保増補村記』、岩国徴古館。※村絵図(享保11年)の説明。

・原田宣昭復刻(1986)：享保増補村記附属絵図、玖珂本郷。

④宝暦小村絵図 地籍図 ※近代地図も含む

・川村博忠(1992)：山口県の地租改正と吉敷郡上中郷村の地籍図、エリア山口、第21号、山口地理学会。

・喜多朝子(1983)：近世中期以降における藩政村の構造I－毛利藩赤村を事例として－、神戸女子短期大学紀要、第26号。

・喜多朝子(1992)：絵図と地籍図－山口県美祢郡赤村の地引絵図－、神戸山手女子短期大学紀要、第35号。

・喜多朝子(1995)：絵図と地籍図にみる窪畑の変容－山口県美祢郡青景村を事例として－、神戸山手女子短期大学紀要、第38号。

・漆原和子・喜多朝子(1996)：『カルスト－その環境と人びとのかかわり－』、大明堂。

・川村博忠(1997)：萩藩の宝暦小村絵図と山口県の明治六年田畑地券絵図の関連、研究者代表小林健太郎『近畿・中国地方における地籍図類の歴史地理学的活用に関する総合的研究』、平成6年度～8年度科学研究費補助金(基盤研究A)研究成果報告書。

・喜多朝子(1997)：絵図と地籍図にみる窪畑の立地と変容－山口県美祢郡秋吉台を事例として－、研究者代表小林健太郎『近畿・中国地方における地籍図類の歴史地理学的活用に関する総合的研究』、平成6年度～8年度科学研究費補助金(基盤研究A)研究成果報告書。

・田中誠二(1996)：『近世の検地と年貢』、塙書房。※第5章3、宝暦検地小村絵図、196-207頁。

究、第13号、18-20頁。

・伊藤栄子(2001)：徳山測量と平山郡蔵の袴紛失事件(二)、伊能忠敬研究、第27号、34-37頁。

・伊能日本図研究会(1996)：山口県文書館蔵伊能大図、伊能図探究七、伊能図見て歩き(一)、伊能忠敬研究、第7号。

・金谷一夫(2000)：伊能忠敬徳山藩に来る、徳山地方郷土史研究会、第21号。

・川村博忠(1988)：「伊能大図」防長両国部分の現存、(月刊古地図研究二百号記念論集)『古地図研究』、日本地図資料協会編集、原書房。

・萩市史編纂委員会(1983)：伊能忠敬の萩付近測量、萩市史、第1巻、萩市、751-761頁。

・防府市史編纂委員会(1996)：伊能忠敬測量御用船諸入目の事、文化3年、「三田尻宰判本控」山口県文書館蔵、『防府市史』史料Ⅱ、510-514頁。

・防府市史編纂委員会(1996)：伊能忠敬測量日記(抄)、文化3年~同10年、「伊能三郎右衛門家文書」佐原市伊能忠敬記念館蔵、『防府市史』史料Ⅱ、674-677頁。

・山口地理学会(2000)：山口県文書館所蔵毛利家文庫「御両国測量絵図」の合成図(複製品)、山口地理学会。

・渡辺一郎・伊藤栄子(1998)：山口県文書館蔵徳山毛利家文庫「測量方御用意記」の紹介、地図、Vol. 36、No.1、12-26頁。

・渡辺一郎・伊藤栄子(1999)：続・徳山毛利藩における伊能測量-山口県文書館・徳山毛利家文庫蔵「測量方御用意記」の紹介一、地図、Vol. 37、No. 1、7-18頁。

⑩世界図

・川村博忠(1994)：近世初頭日本人の海外知識-寛永14年書上の世界図を通して一、山口大学教育学部研究論叢(第1部)、44巻。

・川村博忠(1995)：益田家文書に含まれる近世世界図、エリア山口、第24号。

⑪朝鮮図

・河村克典(1990)：山口県文書館蔵「朝鮮八道之図」について、エリア山口、第19号、山口地理学会。

・河村克典(1992)：岩国徴古館所蔵「朝鮮國惣圖」について、山口県地方史研究、第67号。

絵図方事業の展開、第75回山口県地方史研究大会、発表要旨、山口県地方史研究、第67号。

・北川健(1992)：山陽道の歴史と行程絵図の世界、緑川洋一写真集『山陽道』、集英社。

・広田暢久(1985)：長州藩歴史編纂事業史(其の四)、山口県文書館研究紀要、第12号。

・平凡社(1977)：『太陽コレクション、古地図散歩、江戸・明治・現代、京都・大阪・山陽道』、平凡社。※長門下関~京三条大橋までの山陽道について「行程記」「御国廻り行程記」の図版を使って解説。

・山本正大(1973)：有馬喜惣太とその周辺、史都萩、第30・31号。

・山本正大(1975)：萩藩主の御国廻り行事について、史都萩、第32号。

・山田稔(1998)：「御国廻り行程記」とその異本について、山口県文書館研究紀要、第25号。

⑦土図

・三浦肇・川村博忠(1982)：江戸時代作成の地形模型「防長土図」、地図、20-2。

・山田稔(1990)：有馬喜惣太作製「防長土図」について、山口県立山口博物館研究報告、第16号。

・山田稔(1992)：豊栄神社蔵立体地形模型「芸州郡山之地図」について、山口県立山口博物館研究報告、第18号。

⑧水損図

・川村博忠(1984)：天保11年の樞野川・佐波川筋水損所絵図、エリア山口、第14号。

・河村克典(1993)：山口県文書館蔵「徳地宰判堀・伊賀地・岸見三ヶ村川筋水損図」の記載内容について、山口県地方史研究、第70号。

・河村克典(2002)：近世絵図に描かれた佐波川中流域の洪水、歴史地理、第44巻第5号。

⑨伊能忠敬 伊能図

・----- (1981)：伊能翁防長測量日記、山口県地方史研究、第46号、40-71頁。

・阿武町史編さん委員会(1996)：「伊能忠敬と阿武町」『阿武町史』上巻、349-364頁。

・伊藤栄子(1997)：徳山藩御用絵師朝倉湖内(南陵)のこと、伊能忠敬研

・米地文夫(1992) : 日本最初の地形分類図としての高島北海「山口県地形分色図」について、日本地理学会予稿集、41、日本地理学会。

(5) 絵図・地図目録

- ・山口県文書館(1965) : 山口県文書館史料目録2、毛利家文庫、第2分冊、地誌、105-107頁、山口県文書館。※「行程記」、「御国廻り行程記」など。
- ・山口県文書館(1967) : 山口県文書館史料目録3、毛利家文庫、第3分冊、絵図、63-96頁、山口県文書館。※毛利家文庫の絵図。世界図、日本図、周防・長門両国に関する絵図など。
- ・山口県文書館(1985) : 山口県文書館収蔵文書目録3、県庁旧藩記録等目録、山口県文書館、1985年。※地下上申絵図など。
- ・山口県文書館(1987) : 山口県文書館収蔵文書目録5、諸文庫目録Ⅱ、山口県文書館。※袋入絵図。
- ・山口県文書館(1996) : 山口県文書館蔵、行政資料目録3、地図、1950年代まで、山口県文書館。
- ・山口県教育委員会(1979) : 益田家歴史資料目録、昭和52・53年度歴史資料調査報告書、山口県教育委員会、349-360頁。
- ・山口県教育委員会(1984) : 吉川家歴史資料目録、山口県歴史資料調査報告書、第3集、絵図、107-110頁、山口県教育委員会。
- ・岩国徴古館(1993) : 吉川家寄贈資料目録藩政史料、第17類、地図・図面、219-223頁、岩国徴古館。
- ・岩国徴古館(1992) : 吉川家寄贈図書類目録、第8類、地誌・地図・名勝図・絵類、63-72頁、岩国徴古館。
- ・下関文書館(1967) : 郷土資料目録、下関文書館(長府図書館内)、45-46頁。
- ・下関文書館(1969) : 郷土資料目録2、下関文書館(長府図書館内)、61-63頁、77-78頁。
- ・美祢市立図書館(1986) : 絵・地図目録、昭和61年4月1日現在、美祢市立図書館。
- ・山口県大学附属図書館(1986) : 山口県大学附属図書館蔵棲息堂文庫目録、290地誌・紀行、42-48頁、山口県大学附属図書館。
- ・広島大学附属図書館(1965) : 『中国五県土地・租税資料文庫目録、第1部』、広島大学附属図書館。※山口県(地籍図)、95-102頁。
- ・国土地理院(2003) : 地形図図歴、国土地理院、インターネット、ホーム

・河村克典(1997) : 朝鮮漂着民との関連で作成された朝鮮図、山口県文書館研究紀要、第24号。

・河村克典(1997) : 林子平「朝鮮国全図」の内容とその系統本、エリア山口、第26号、山口地理学会。

・河村克典(1998) : 山口県文書館蔵「朝鮮国之図」の内容とその系統本、山口県文書館研究紀要、第25号、山口地理学会。

・河村克典(1998) : 山口県文書館蔵「朝鮮八道之図」の作成経緯、山口県地方史研究、第79号。

・河村克典(1998) : 米国国立国会図書館所蔵の「松原正軒」系朝鮮図について、山口県地方史研究、第80号。

・河村克典(1999) : 山口県文書館所蔵「朝鮮八道総図」に記載された秀吉軍朝鮮侵略の記事について、山口県史研究、第7号。

⑫絵図方

・山本正大(1975) : 有馬喜惣太と行程記、『山陽道』、中公新書399。

・山本正大(1976) : 有馬喜惣太とその家系、山口県地方史研究、第35号。

・山田稔(1986) : 萩藩絵図方の沿革(一)、山口県文書館研究紀要、第13号。

・吉本一雄(1990) : 萩藩絵図方に関する記録、山口県文書館研究紀要、第17号。

(4) 近代地図

※(3)④宝暦小村絵図・地籍図も見よ

・石川真純(1984) : 大正11年・昭和13年宇部市街古地図-復刻によせて、宇部地方史研究、第12号。

・河村克典(2000) : 明治・大正・昭和初期刊行の山口県全図、山口県文書館研究紀要、第27号。

・河野通弘(1962) : 高島北海の山口県地質図説、地学研究、12-9。

・平凡社(1980) : 山口県全図(輯製20万分1図復刻版)、『日本歴史地名大系第36巻、山口県の地名』特別付録。※「輯製20万分1図」(明治17年、1884年)の山口県及びその周辺のものを合成して復刻したものである。

・米地文夫(1992) : 明治前期における地形学関係論文について、日本地理学会予稿集、42、日本地理学会。

・米地文夫(1992) : 高島北海による地形学的業績の全体像(予報)、東北地理、44-1。

ページ。

・国土地理院地図部（1997）：『5万分1地形図作成・所蔵目録』、国土地理院地図部。

・梅田正（1989）：山口県文書館架蔵 絵図・地図目録(1)、山口県文書館研究紀要、第16号。

・梅田正（1990）：山口県文書館架蔵 絵図・地図目録(2)、山口県文書館研究紀要、第17号。

・河村克典（2001）：館蔵の海図について、山口県文書館研究紀要、第28号。

・河村克典（2002）：国土地理院刊行「5万分1地形図作成・所蔵目録」と館蔵地形図、山口県文書館研究紀要、第29号。